
2013 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシッ
プ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの：

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

はじめに.....	2
2013年度 活動報告.....	3
2013年度 決算報告.....	3

はじめに

2013年度は、当センターが事業を始めて15年、特定非営利活動法人になってから10年という節目の年でもあり、7月の総会で、皆さまと一緒にそのお祝いをさせていただきましたこと、心より嬉しく、御礼申し上げます。

ここ数年、様々なところで若者のアントレプレナーシップを奨励する活動が活発になり、本年度は、当センターの活動に、ようやく時代が追いついてきたと実感する年でもありました。

2004年から開催しております高校生対象の国際競技「グローバル・エンタプライズ・チャレンジ (GEC)」では、日本代表チームとして洛南高校と京都教育大学附属高等学校が選ばれ、残念ながら、世界大会では入賞ができませんでしたが、その後の「アジア・サイエンス・エンタプライズ・チャレンジ (ASEC)」では、京都教育大学附属高等学校のチームが優勝することができました。2014年度の代表チームも既に3月末に決定し、6月の世界大会に向けて準備を進めております。開始当初は、興味を持ってくださる高校や生徒を見つけるのに苦労しましたが、ここ数年グローバル人材の育成に積極的な高校が増え、優秀な生徒というだけでなく、起業家志望の生徒が主体的に応募して来てくれるようになりました。

このような動きに合わせ、当センターでは、小学生から大学生の教育実践を紹介するサイト「ユース・エンタプライズ (Youth Enterprise)」を開発し、今年4月から公開、アントレプレナーシップの教育プロジェクトの登録を募っています。また、福祉分野での「次世代の担い手育成事業」は立ち上げから5年目を迎え、500人以上の生徒が参加する活動に成長しました。同時に、地域の社会福祉協議会や支援施設などが、各地域で自主的に運営できる仕組みもでき、学校を核に地域が一体となって人材育成を行える体制ができつつあります。京都府の障害者の就労支援事業にも引き続き参画し、障害のある方の就職を側面から応援させていただいております。そして、昨年、9月には国際的な慈善事業組織として100年以上も歴史のある京都キワニスより、「社会公益賞」を頂き、当センターの活動を評価頂いたことを大変うれしく思っております。

今年度は、上述した「ユース・エンタプライズ」をアントレプレナーシップ教育のプラットフォームとして発展させるべく、情報発信や普及活動に力をいれながら、自主事業を充実していきたいと思っております。そして、次の10年後には、若い人の2人に1人が、自ら仕事を創り出すことに興味や自信を持ってくれるような社会が実現できればと思っておりますので、どうぞ、引き続きご支援・ご指導のほどよろしく願いいたします。

平成26年5月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
理事長 原田紀久子

1. 事業理解を進めるための調査・研究・情報発信事業

●HP、ブログ、Facebook やメールマガジンでの情報発信

随時 HP やブログや Facebook に活動情報や報告を掲載。また、毎月 25 日に約 5,500 人にメールマガジンを配信。

HP アドレス : <http://www.entreplanet.org/>

ブログアドレス : <http://blog.canpan.info/entreplanet/>

Facebook アドレス : <https://www.facebook.com/entreplanet>

●調査研究活動

国際機関 APO (アジア生産性機構) に所属するアジア 8 カ国のアントレプレナーシップの状況について調査研究のため、カンボジア、プノンペンのカンボジア日本人材開発センターにて開催された会議に 8 月 21 日から 23 日参加しました。研究レポートは 2014 年の夏ごろに APO から出版される予定です。



2. 実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援事業

●「きょうと介護・福祉ジョブネット」仕事理解促進事業 「次世代の担い手育成事業」

次世代の介護・福祉人材の育成を目標に、福祉の仕事への興味・関心を促進するため、小・中学校の「総合的な学習の時間」などを活用し、学校教育の中で福祉の仕事についての理解を深めるための施設見学、就業体験プログラムです。今年度は、小学校 6 校と中学校 3 校の合計 9 校、556 名の児童・生徒と 53 の施設が参加しました。



●教員研修や授業支援・指導のコンサルティング

Web 教材「キッズアントレ」や「バーチャル・カンパニー」を活用される学校への支援などを行いました。

3. 能力開発のための研修・講義・講座の提供

- ・ ユースアントレプレナーシップワークショップ「アイデアの畑からビジネスを掘り起こそう！」を実施 (2013/5/26)
- ・ 同志社女子大学 情報メディア学科 FD 勉強会 (2013/9/25)
- ・ 京都外国語大学 リーダーズ・スクール グローバル・リーダーシップ・セミナーにてアントレプレナーシップミニワークショップを実施 (2013/10/19)
- ・ 京都学園大学 女性起業家講座にて講義「女性リーダーのキャリアデザイン」(2013/10/22)
- ・ 佛教大学 (2013/11/1)



4. 普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営

●グローバル・エンタプライズ・チャレンジ (Global Enterprise Challenge)2013

Global Enterprise Challenge (GEC) は、若者のイノベーションへの興味を喚起するために、16歳から19歳までの青少年を対象にした、12時間のビジネスアイデアの国際競技です。日本は2004年から代表チームを送っています。現在、オーストラリアの非営利団体 ABW Enterprise Education が世界大会のホストとなり、NASA(米航空宇宙局)やWIPO(世界知的所有権機関)も支援 NASA(米航空宇宙局)やWIPO(世界知的所有権機関)の支援を受けて開催しています。日本からは、国内予選で入賞した洛南高等学校と京都教育大学附属高等学校の2チームが6月15日の世界大会に参加しました。2013年は17カ国から39チームが参加し、ニューヨークの市立高校 Stuyvesant High School が優勝しました。日本の代表チームも健闘しましたが、入賞には至らず、その後 Singapore Science Centre で7月25日～26日にかけて開催された「アジア・サイエンス・エンタプライズ・チャレンジ (ASEC)」の24時間競技にも参加し、見事、京都教育大学附属高等学校が優勝しました。

共 催：ABW Enterprise Education, NASA (アメリカ航空宇宙局)、WIPO (世界知的所有権機構)

協 賛：柿本商事株式会社、株式会社京進、京都外国語大学、株式会社島津製作所、株式会社大貴、日東薬品工業株式会社、株式会社堀場製作所

後 援：経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、公益財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会 (公益社団法人京都工業 会、一般社団法人京都経済同友会、一般社団法人発明協会京都支部)、独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

【国内予選】 3/23(土) 8:00AM-20:00PM

<課題 (challenge) >

“build a working model for an innovative educational system that will produce leaders who can think globally, act locally, and play an active role in creating a better society”.

■入賞チーム

- 最優秀賞 『International Solution Exchange System (ISES)』(洛南高等学校 チーム)
- 優秀賞 『Shake and Change』(京都教育大学附属高等学校 チーム)
- 3位 『The New Style Online Game』(国立明石工業高等学校専門学校 チーム)

【ファンド・レイジング・パーティ】 5月25日 17:00- @Cafe Bazaar

ドイツでの世界大会に参加するため、渡航費の一部を参加生徒自ら集めるファンド・レイジング・パーティを開催。京都教育大学付属高等学校のチームが、リーダーを中心に企画・運営し、参加した来場者をもてなし、学校の先生や保護者の方々も参加いただき、事業の趣旨を理解いただく良い機会となりました。



【世界大会】 6/15(土) 8:00AM-20:00PM

<課題 (challenge) >

“to develop a business proposal to increase tourism visitation and income for a national, regional, or local tourist attraction, which you will present to a panel of venture funders. These investors are particularly interested in business ideas where you need to apply science and technology to manage the environmental issues. You will need to balance the revenue needed to sustain profitability, against the cost of preserving and improving the attractions environment for future generations of tourists.”

■入賞チーム

- 最優秀賞 『Bike & Seek』 (Stuyvesant High School ,アメリカ合衆国)
- Creativity 賞 『ZipCity』 (Academy for the Advancement of Science and Technology ,アメリカ合衆国)



【アジア大会】 Asian Science Enterprise Challenge (ASEC) 7/25 日(木) 11:00~7/26(金) 11:00

ASEC は Singapore Science Centre にて開催され、アジア諸国から4ヶ国8チームが参加しました。日本からは GEC の世界大会と同様に、国内予選の入賞チームである洛南高等学校と京都教育大学附属高等学校がネット参加し、見事京都教育大学附属高等学校が優勝しました。



<課題(challenge)>

"To create a business idea for an economically viable product or service that will minimize the occurrence and the impact of malaria, dengue, or diarrheal diseases."

■入賞チーム

- 最優秀賞 日本チーム (京都教育大学附属チーム)
- 優秀賞 インドネシアチーム (Medco Energy)
- Creative 賞 マレーシアチーム (Texnaxious)
- Innovative 賞 シンガポールチーム (Busters)



●グローバル・エンタプライズ・チャレンジ (Global Enterprise Challenge)2014

Global Enterprise Challenge 2014 の国内予選を3月21日に実施いたしました。今年は20チームで約130名が参加し、12時間以内に英語によるA4で2ページのビジネスプランと3分間のビデオプレゼンテーション(オプションとしてパワーポイント)を提出し、競い合いました。以下、上位3チームが6月14日の世界大会に参加します。

<課題> “to develop a business plan involving adaptation to climate change. You will be pitching your proposal to a panel of venture capitalists whose backing you will need in order to make your plan a reality. Keep in mind that these investors are particularly interested in ideas that involve information-technology solutions and that can be marketed internationally. So design your pitch accordingly. “

■国内予選入賞チーム

- 最優秀賞 『Global Food on Demand』(同志社国際高等学校 Doshisha Kokusai チーム)
- 最優秀賞 『Agricultural Bank Corporation (ABC)』(京都市立西京高等学校 Team Saikyo チーム)
- 三位 『Moffice Project』(東洋英和女学院高等学部、桜蔭高等学校、青山学院高等部 Team TGP チーム)



●バーチャル・カンパニートレードフェア 2013

第13回目を迎えた『バーチャル・カンパニー トレードフェア』は、全国各地から30チーム（小学生1チーム、中学生4チーム、高校生1チーム、大学生24チーム）が参加しました。当日は、日頃の学習成果を展示販売やプレゼンテーションを通じて発表し、互いの実践から学び合い交流する良い機会となりました。交流セッションでは、学校の枠を超えてグループを組み、新商品の開発に挑戦しました。その後の講演会では、トレードフェアの卒業生の起業家から実体験を通じた具体的な企業運営の話聞くことができ、大いに刺激になったようです。

事業終了後の参加者アンケートでは、参加者の97%が「大変学ぶことがあった」または「学ぶことがあった」と回答しています。そして、すべての活動に対してほぼ均等に学ぶことがあったとしていますが、一番やりがいがあり学ぶことがあったこととしては、「ブースでの販売活動」がトップで、次に「参加するにあたり事業計画書やプロモーションビデオ・HPなどを作成したこと」をあげており、イベント当日だけでなく出展・発表のために努力したことが良い学習となっていたことが伺えます。一番楽しかった活動としては、「ブースでの販売活動」に次いで「交流会で他の学校の生徒と一緒に商品考えたこと」があり、個別のコメントも含めて他校の生徒との交流を楽しんだ様子が見て取れました。

また、トレードフェアには、出展校の保護者や支援団体、近隣の方々を含め多くの方々に参加いただき、アントレプレナーシップ教育について広く知っていただく機会となりました。運営においても、昨年度に引き続き、過去に本取り組みに参加した若者や協力団体の皆様にボランティアスタッフとして参画・応援いただき、皆で創っていく教育活動として根付いて来ております。

◎広島県福山市山野中学校がトレードフェアに初参加

全校生徒10人の山野中学校では、“町を元気にしたい”との思いから生徒達による模擬株式会社「やまのアクティベーション」を設立されました。株主は山野町民約50人で、主力商品は「手づくり和紙はがき」を中心に、新たな商品開発、商品製作、イベントでの販売まで、生徒自ら積極的に行い、トレードフェアではその成果が評価され、異能工房賞を授与されました。その取り組みは広島ホームテレビや中国新聞に取り上げられています。

特別協賛：公益財団法人本田財団

協 賛：有限会社アミークス、一般社団法人IMPACT Foundation Japan、株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、京都中央信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社大貴、株式会社フューチャースピリッツ

広告協賛：株式会社井筒八ツ橋本舗、よーじやグループ、有限会社森三（スタジオダリ）

商品協賛：有限会社アミークス、コワーキングスペース異能工房アソシエイト一同、株式会社エフパル、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社如月社（京都シネマ）、よーじやグループ

【活動内容】

10:00 開会式

主催者挨拶：市原 達朗（トレードフェア実行委員会 委員長）

開 会 宣 言：伊藤 浩士（東毛大和庵社長 共愛学園前橋国際大学 2年生）*昨年度の知事賞受賞校



10:15 バーチャル・カンパニーのブース展示・プレゼンテーション

全国から集まった小学生～大学生のチームが、自分たちの運営するバーチャル・カンパニーの商品をブースにて販売。同時に事業内容のプレゼンテーションを行いました。この間、参加チームの実践は、事業内容・社会貢献度・地域との連携・展示販売や発表方法など、総合的な視点で評価されました。



14:15 参加者の交流セッション

本セッションは学校・学年の壁を超えた交流を目的としており、出展した小学生から大学生が自分の学校とは違う学校の人と7～8名のチームを組んで、当日出された課題にそって商品開発に挑戦しました。今年は、「麻紐を使って付加価値のある商品を提案しなさい。」というものでした。

参加者は、チームで協力し合いながら楽しくモノづくりに取り組んでいました。最後にすべてのチームがステージ上でアイデア商品を発表し、その中で一番評価の高かったチームに協賛企業である有限会社アミークスの代表取締役の手島昭様より賞品が贈られました。



15:30 講演「夢をかたちに」 高橋 良祐 (株式会社 Link Ability 代表取締役)

2007年近畿大学在学中にバーチャル・カンパニートレードフェアに参加され、株式会社 Link Ability を創業された高橋良祐様に起業に至るまでの経緯や事業運営の大変さややりがいについてお話いただきました。



16:00 審査結果の発表と表彰式

展示ブースでの応対、提案商品の新規性やプレゼンテーションの発表などを審査員が総合的に評価し、優れた実践に対して賞を授与しました。



- ◎京都府知事賞（社会貢献度が最も高かったチーム）
東毛大和庵、共愛学園前橋国際大学
- ◎京都工業会賞（科学技術の分野（製品：ものづくり）において新しい発想があったチーム）
e-pork、共愛学園前橋国際大学
- ◎京都経済同友会（地域コミュニティに貢献度の高いチーム）
Kyoto Functionality Company、京都府立桂高等学校
- ◎京都中小企業家同友会賞（ビジネスモデル（サービス）に新規性や独自性の高かったチーム）
藍美堂、共愛学園前橋国際大学
- ◎異能工房賞（実際に起業するなら応援したいチーム）
株式会社 Yamano Activation、福山市立山野中学校
- ◎本田財団賞（科学技術の分野で秀でた事業アイデアを出したチーム）
るーぷ、愛知学院大学
- ◎スチューデント賞（生徒が選ぶ最も優れたチーム）
Feito A Mao、津市立南郊中学校
- ◎ベストショップ賞（一般来場者が選ぶ最も優れたチーム）
N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション)、尾道市立原田中学校
- ◎特別賞
青目星、共愛学園前橋国際大学
株式会社 ACT、同志社女子大学
パズけん、目白大学
- ◎異能工房特別賞
和菓子屋 煌翔、養正小学校
一身田カンパニー、一身田中学校
N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション)、尾道市立原田中学校
Feito A Mao、津市立南郊中学校

17:00 閉会のご挨拶

石田 寛人（公益財団法人本田財団 理事長）

山下 晃正（京都府 副知事）



●京都府知事賞 受賞チーム:東毛大和庵(共愛学園前橋国際大学)



『東毛大和庵のHP』



「やまといも」と「やまと芋ふりかけ」

群馬県太田市の特産物「やまといも」を使用「やまと芋ふりかけ」等の商品・サービスを提供。

●京都工業会賞 受賞チーム:e-pork(共愛学園前橋国際大学)



『e-pork のHP』



「群馬氷室豚の角煮」と「ヒレカツサンド」

群馬のブランド豚肉である、「群馬氷室豚」を使った角煮などの商品の開発・販売。

●京都経済同友会賞 受賞チーム:Kyoto Functionality Company (京都府立桂高等学校)



『Kyoto Functionality Company のHP』 「鹿ヶ谷かぼちやのマフィン」と「アイス」

京都に関係の深い食材である「京野菜」や「蓮」の機能性に着目した商品を開発・販売。

●京都中小企業家同友会賞 受賞チーム:藍美堂(共愛学園前橋国際大学)

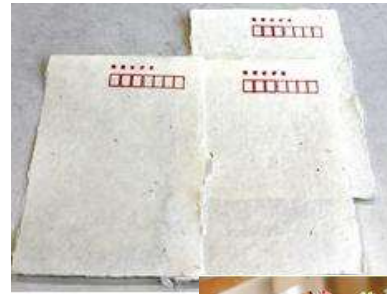


『藍美堂のHP』

「シルキーベリー洗顔料」

群馬の伝統産業であるシルクを生かし、薬品を一切使わずに天然の繭から抽出された「シルク抽出液」を使用した洗顔料を販売。

●異能工房賞 受賞チーム:株式会社 Yamano Activation (福山市立山野中学校)



『Yamano Activation の HP』

「良ノ紙手作り和紙はがき」と「葉」

山野に自生する雁皮を採集し、皮むき、煮沸、叩解、紙漉きをした希少価値の高い手作り和紙を商品化。

●本田財団賞 受賞チーム:るーぷ (愛知学院大学)



『るーぷの HP』

「シュ！キーパー くつ用」と「ブーツ用」

学内で出た不要な物であるタバコの吸い殻フィルターを原料とした商品、シューキーパーを製造販売。

●スチューデント賞 受賞チーム:Feito A Mao(津市立南郊中学校)



『Feito A Mao のHP』

「マルガリーダ」と「スイーツストラップ」

ブラジルのオザスコ市と姉妹都市であることから多文化共生を目指す街づくりに貢献することを理念とし、BISCUIT(ビスクイ:ブラジル粘土)を使ったオリジナル商品を開発し、販売。

●ベストショップ賞 受賞チーム:N.R.C.(ナチュラル・リサイクル・コーポレーション)(尾道市立原田中学校)



『N.R.C.のHP』

「ポプリ」と「エコセット(観賞用)」

原田町の落ち葉を有効活用し、全て手作業で作製、約2年間熟成させた腐葉土と花の種などをセットにした「原田エコセット」や学校で栽培している花やハーブなどをいれて商品化した「ポプリ」を販売。

●特別賞：青目星（共愛学園前橋国際大学）



【青目星のHP】 「ブルーベリーモナカ」と「ブルーベリーモンブラン」
 全国生産量第二位の群馬のブルーベリーを用いてモナカとブルーベリーの葉を使ったお茶を販売。

●特別賞：株式会社 ACT（同志社女子大学）



『株式会社 ACT のHP』 「えびいも」
 京田辺の名産品であるエビイモを使ったりんとうを製造・販売。

●特別賞：パズけん（目白大学）



『パズけんのHP』 「香っちゃお」と「閉まらな〜い」
 「健康を向上、維持する商品を作る会社」をコンセプトとした、子どもをはじめ、老若男女に使えるパズル(聴覚パズル、嗅覚パズル、空間パズルなど)を販売。

5. 起業や事業運営に関わる研修やコンサルティング事業

●神戸商工会議所「KCCI創業塾(第15期)～起業家カレッジ」

神戸商工会議所の創業塾にて「会社を作ろう！」の講座を担当しました。

開催期間:平成25年6月15日(土)～7月20日(土)[全6回]

場 所:神戸市産業振興センター

●兵庫六甲農業協同組合「農業経営者塾」

兵庫六甲農業協同組合にて主催されている「農業経営者塾」にて「経営計画立案」を担当しました。

開催日:平成25年5月14日(火)、平成26年3月11日(火)

場 所:JA 兵庫六甲三田営農総合センター

6. 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス(就労支援事業)の提供やその支援

●平成25年度京都府地域力再生プラットフォーム事業

「障がい者の働きがいと能力を活かす地域の実現」に向けて

昨年度に引き続き、障がい者ひとり一人の自立を実現するために、賃金保障を確保してだけでなく、個々の働きがいや能力を伸ばす就労のあり方について、多様な団体が協力して障がい者の地域参画と就労支援体制を構築する施策を検討しました。会議では、就労したい障害者のネットワーク構築(障害のある人自身による主体的な研修・交流の場)や、新たな就労訓練システムの構築(基礎的な職業理解や社会学習等を含め)、障害のある人自身が就労支援を選択できる仕組み(就労支援への評価の仕組みづくり)、障害のある人の働きたい気持ちを支援する就労支援機関のネットワークづくりなどの提案がなされ、府の担当部署の障害支援課では、府内ベンチャーで、昨年から実施している「福祉から雇用」応援事業の検証を踏まえて、障害のある方の就労をさらに推進する新たな施策づくりを進めていただくことになりました。

【活動内容】

<第5回会議>

- ・日時:平成25年9月19日(木)14:00-16:00
- ・場所:京都府庁NPOパートナーシップセンター会議室
- ・内容:今年度実施事業「福祉から雇用」応援事業の報告と意見交換

<第6回会議>

- ・日時:平成25年10月24日(木)14:00-16:00
- ・場所:バザールカフェ
- ・内容:事業の報告と意見交換、就労移行支援のあり方の検討

<第7回会議>

- ・日時:平成25年12月20日(金)15:00-17:00
- ・場所:京都府庁NPOパートナーシップセンター会議室
- ・内容:ソーシャルインクルージョンの観点からみた障害者福祉について講演

<第8回会議>

- ・平成26年1月27日(月)13:30-16:30
- ・場 所:府庁内の福利厚生センター3階第2・3会議室
- ・内容:福祉就労から一般就労へ「実践事例」研究



●平成 25 年度京都府「福祉から雇用」応援事業【就労継続支援 B 型事業所等】

本事業は、障害者働き支援隊を設置し、就労支援機関（はあとふるジョブカフェ、障害者就業・生活支援センター）と連携を図ることで、就労継続支援 B 型事業所等で働く障害者を就労支援機関につなぎ一般就労への移行を促進することを目的とするものです。当センターも支援隊のメンバーとして支援員の方々のフォローをさせていただきました。

7. その他 この法人の目的を達成するために必要な事業

●公的な委員等

- ・ 京都府府民力推進委員
- ・ 京都府雇用創出・就業支援計画推進委員
- ・ 京都府工賃向上計画検討会議委員

●京都キワニス社会公益賞 受賞

国際的な慈善事業組織として 100 年以上も歴史のあるキワニス財団の京都支部から、社会公益賞を授与いただきました。栄誉ある賞を頂戴し、今後の励みとなりました。



■□2013 年度プレスリリース-----

当センターが支援している学校の取組みが新聞で紹介されました。記事の内容は、当センターHP の下記のページからご覧下さい。<http://www.entreplanet.org/press/index.html>

- ・ 2014 年 3 月 9 日 京都新聞 「福祉現場体験 子ら思い新た 府内 6 小中校 中京で発表会」
- ・ 2014 年 1 月 10 日 広報なんたん 「行政トピックス 教育に福祉の現場取り入れ」
- ・ 2013 年 12 月 17 日 広報「京丹波」 「福祉の現場を学ぶ 和知中学校福祉体験学習発表会」
- ・ 2013 年 11 月 26 日 広島ホームテレビ 「J ステーション：中学生が株式会社設立」
- ・ 2013 年 11 月 22 日 京都新聞 「仮想見本市へようこそ 小学生～大学生が 30 店」
- ・ 2013 年 11 月 22 日 中国新聞 「中学生会社がフェア初参加」
- ・ 2013 年 11 月 16 日 京都新聞 「介護福祉の仕事は大変 和知中 生徒ら職場体験発表」
- ・ 2013 年 11 月 2 日 中国新聞 「山野中生が模擬会社立ち上げ」
- ・ 2013 年 9 月 27 日 京都新聞 「老人ホームの仕事体験 宮津・栗田中生」
- ・ 2013 年 9 月 27 日 産経新聞 「京都キワニスクラブ 2 団体に社会公益賞」
- ・ 2013 年 9 月 18 日 毎日新聞 「認知症の基礎学ぶ 特養ホーム職員が”授業” 宮津・栗田中」
- ・ 2013 年 8 月 26 日・9 月 2 日 京都三条ラジオカフェ 「FM797 「環境市民のエコまちライフ」に GEC 日本代表チームの洛南高校と京都教育大学付属高等学校のチームが出演」
- ・ 2013 年 8 月 22 日 KBS 京都ラジオ 「「笑福亭晃瓶のほっかほっかラジオ」 嘶の朝ごはん アジア大会で優勝した京都教育大学付属高等学校チームが出演」
- ・ 2013 年 8 月 7 日 京都新聞 「青少年ビジネスプラン アジア大会 京教大附属高チームが優勝」
- ・ 2013 年 6 月 14 日 京都新聞 「洛南高 2 年連続 世界に挑戦 英語でビジネスプラン競え 京教大附属高も出場」
- ・ 2013 年 5 月 24 日 京都新聞 「若者の発想で京田辺を PR 同女大生、商店街と連携」
- ・ 2013 年 5 月 18 日 読売新聞 「地域一体で起業家教育 福山・山野中の模擬株式会社 住民が株主 和紙商品販売深まる交流」

平成 25 年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目		金額	
I	経常収益		
1.	受取会費		
	正会員受取会費	280,000	
	賛助会員受取会費	95,000	375,000
2.	受取寄附金		
	受取寄付金	3,357,188	3,357,188
3.	受取助成金等		
	受取助成金	1,052,000	1,052,000
4.	事業収益		
	理解促進の調査・研究・情報発信	308,856	
	教材開発・導入支援事業	5,726,825	
	研修・講座事業	535,700	
	就労支援事業収益	1,240,000	
	普及促進事業収益	0	
	その他(委員謝金等)	114,900	7,926,281
5.	その他収益		
	受取利息	4,156	4,156
	経常収益計		12,714,625
II	経常費用		
1.	事業費		
	(1) 人件費	6,800,356	
	(2) その他経費	5,866,465	
	事業費計		12,666,821
2.	管理費		
	(1) 人件費	464,000	
	(2) その他経費	1,343,022	
	管理費計		1,807,022
	経常費用計		14,473,843
	当期経常増減額		-1,759,218
III	経常外収益		0
IV	経常外費用		0
	経常外費用計		
	税引前当期正味財産増減額		-1,759,218
	法人税、住民税及び事業税		70,000
	当期正味財産増減額		-1,829,218
	前期繰越正味財産額		24,326,023
	次期繰越正味財産額		22,496,805

平成 25 年度「特定非営利活動に係る事業」貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	32,553	
普通預金	23,534,398	
前払費用	194,290	
未収入金	2,512,400	
流動資産合計		26,273,641
2 固定資産		
保証金（敷金）	500,000	
固定資産合計		500,000
資産合計		26,773,641
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金	66,865	
前受収益	300,000	
未払金	909,971	
流動負債合計		1,276,836
2 固定負債		
退職給与引当金	3,000,000	
固定負債合計		3,000,000
負債合計		4,276,836
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		24,326,023
当期正味財産増加額		
当期収支差額	(1,829,218)	(1,829,218)
正味財産合計		22,496,805
負債及び正味財産合計		26,773,641

平成 25 年度「特定非営利活動に係る事業」財産目録

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部 1 流動資産 現金 現金手元有高 32,553 普通預金 京都銀行西五条企業会館支店 8,467,735 京都中央信用金庫西大路五条支店 15,066,663 前払費用 194,290 未収入金 2,512,400 流動資産合計 26,273,641			
2 固定資産 保証金（船越メディカルビル事務所保証金） 京都市中京区両替町通丸太町南入西方寺町 1 6 0 - 2 船越メディカルビル 3 F 500,000 固定資産合計 500,000 資産合計 26,773,641			
II 負債の部 1 流動負債 預り金 66,865 前受収益 300,000 未払金 909,971 流動負債合計 1,276,836			
2 固定負債 退職給与引当金 3,000,000 固定負債合計 3,000,000 負債合計 4,276,836 正味財産合計 22,496,805			